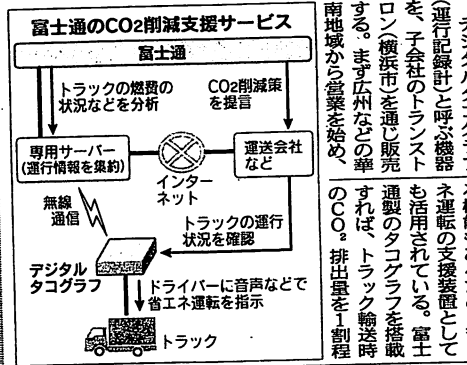


トラック輸送のCO₂削減支援

富士通、中国で事業

富士通は中国でトラック輸送の二酸化炭素(CO₂)排出削減を支援する事業に乗り出す。トラックに取り付ける省エネ管理機器の販売を2011年にも始める。中国では都市部への人口集中などで貨物の輸送量が急増し、政府も環境政策のひびきに交通部門のCO₂削減を掲げているという。音響で省エネ運転を指示できる機能などを売り込み、3年後に数字上の販売を目指す。

省エネ管理機器販売



デジタルタコグラフ(運行記録計)と呼ぶ機器を、子会社のトランスロン(横浜市を通じ販売する。まず広州などの華南地域から営業を始め、自動車部品の物流会社などに採用を働き掛ける。タコグラフはバスやトラックの速度や運転時間を計測・記録する装置。本来はドライバーの労務管理に使用されるが、エネルギー効率の高い運転手法を音などで指示する機能もあるため、省エネ運転の支援装置としても活用されている。富士通製のタコグラフを搭載すれば、トラック輸送時のCO₂排出量を1割程度削減できるという。

中国市場に投入するタコグラフには、無線通信でトラックの運行状況をリアルタイムでチェックする機能も装備。集めた走行距離などのデータを分析し、運送会社にCO₂削減策を提案するサービスも検討する。

価格は今後詰めるが、10万~20万円程度になる見通し。トラックの運行状況の分析などを行う場合、トラック1台当たり月額半円の料金が別にかかるという。

中国では貨物量の急増で、運輸部門からのCO₂排出量が急増している。富士通によると、中国政府も交通部門のCO₂削減を環境政策の柱のひとつに位置付けており、現地の運送会社の間でトラック輸送時のCO₂削減への関心が高まっているという。

国内メーカーでは最大手の矢崎総業も東南アジア諸国で省エネ運転支援装置としてデジタルタコグラフの販売を強化している。

電力・都市ガス会社	2011年1月料金	前月比
北海道	6,177(418)	▲1.1%
東北	6,289(428)	▲0.8%
関東	6,257(444)	▲0.7%
中部	6,500(439)	▲0.5%
関西	6,310(418)	▲0.9%
中国	6,403(424)	▲0.6%
四国	6,734(436)	▲0.4%
九州	6,581(415)	▲0.7%
電力大手4社	6,241(427)	▲0.6%
電力大手3社	7,270(436)	▲0.5%
都市ガス	5,264(437)	▲0.3%
東京	5,572(439)	▲0.2%
京阪神	5,988(435)	▲0.1%
東大東	5,650(422)	▲0.4%

来年1月の料金は今年8~10月の平均燃料価格をもとに算出。今年12月の料金の算定ベースは、8~9月平均に比べ、7~10月平均は原油価格が1.8%、LNG価格が2.7%それぞれ下がった。

北海道、森林取引届け出制

北海道の高橋はるみ知事は29日の道議会で、森林や沼地の土地取引に事前届け出を求める独自の条例を制定する考えを表明した。水源地などを外国資本が取得する事例が増えていることから、取引実態を把握し、森林の

安全につなげる考えだ。2011年度中の条例制定を目指す。林野庁では「森林の取引で独自の条例を制定した例は聞いたことがない」としている。現在は森林などの土地売買は1畝未満なら届け

1畝未満も 外資の取得 把握へ

出の必要がなく実態がつかめないため、1畝未満の土地も契約前の届け出を求める。問題があれば審査し、知事が勧告することも検討する。

北海道では最近、香港資本など外資による森林取得が相次ぎ、道の調査では道内で約8200畝の森林を外資が所有している。

11/30

文 化

「死なない家」に住む

最初の接点は荒川さんが岐阜県につくった「養老天命反転地」。1995年、凸凹の奇妙な公園が開園したというニュースを見て訪れた。その時はそれ以上のことはなく、時間だけが流れた。

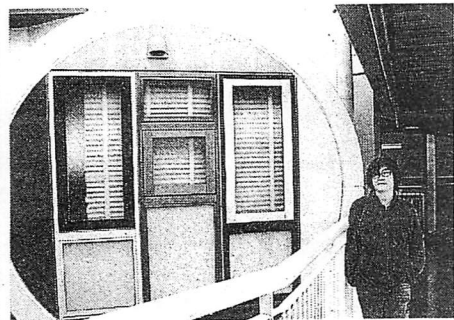
「死なない家」に住む

◇「天命反転」説く荒川作品での生活を映画に◇

山岡 信貴

人間は死なない。死ぬのは法律違反。そう語った荒川修作。今年5月に亡くなった世界的な美術家は後年、死すべき定めを覆す「天命反転」の思想を説き続けていた。そのひとつの実践が東京都三鷹市に立つ「三鷹天命反転住宅」だ。

傾いた凸凹の床、極彩色の内装、傾いた凸凹の床、ドアや仕切りのない空間……。およそ住宅の常識とはかけ離れた家に、僕は4年間住み、映像を撮り続けた。その記録を「死なない家



供、荒川修作」と題するドキュメンタリー映画にまとめて来月、公開する。もともとカメラは作品にするつもりで回したのではなかった。荒川さんを知ったのも偶然だし、ここに住み始めたのも偶然。不思議な縁だと思わざるを得ない。

だが、見る見るうちに色がたがいていく。一体何なのか。幼稚園だろうか。それにしても手が込んである。しばらくして説明会があり、荒川作品か、と合点がいった。

住宅の完成は05年秋。それから約1年後、ケー

ブルテレビで人居者募集の告知があり、何となく妻と子供と見学会に出かけた。入った瞬間、空気が違った。すごい、住んでみたいと思った。当時2歳だった子供も帰りがくなくと駄々をこねる。そのまま勢いで人居を

体が芯から調子上向く。当初は高揚感が先立ち、珍しいアート作品に住んでいくくらいの意識だった。「死なない」という言葉も芸術家のマニフェストや作品のコンセプト程度にとらえてい

ネットスクラブで鍛えられていると、名前もついていないような細かい筋肉が使われて、体が内側から根本的に変わっていった。荒川さんは僕たちがまだ知らない命の大事なことを言っている。それはもはや僕の中で間違いないことだった。書くのは無理でも、せめて映像を撮って報告しよう、とカメラを回し始めた。

子供が慣れるのも早かった。家の中央の台所の周りを延々と走り回っている。人は屋内では散歩などしないものだが、僕も気分転換にぐるぐる歩いてみたくなる。いわば公園にいるような感覚。普通の家では、飯はここ、勉強はここといった具合に決まった箇所があり、余白は重要ではない。しかし、この家では何もないすき間に、ふと立ちてみたくなる。そこかしこに独特の雰囲気があ

たが、見る見るうちに色がたがいていく。一体何なのか。幼稚園だろうか。それにしても手が込んである。しばらくして説明会があり、荒川作品か、と合点がいった。

住宅の完成は05年秋。それから約1年後、ケー

ブルテレビで人居者募集の告知があり、何となく妻と子供と見学会に出かけた。入った瞬間、空気が違った。すごい、住んでみたいと思った。当時2歳だった子供も帰りがくなくと駄々をこねる。そのまま勢いで人居を

体が芯から調子上向く。当初は高揚感が先立ち、珍しいアート作品に住んでいくくらいの意識だった。「死なない」という言葉も芸術家のマニフェストや作品のコンセプト程度にとらえてい

ネットスクラブで鍛えられていると、名前もついていないような細かい筋肉が使われて、体が内側から根本的に変わっていった。荒川さんは僕たちがまだ知らない命の大事なことを言っている。それはもはや僕の中で間違いないことだった。書くのは無理でも、せめて映像を撮って報告しよう、とカメラを回し始めた。

子供が慣れるのも早かった。家の中央の台所の周りを延々と走り回っている。人は屋内では散歩などしないものだが、僕も気分転換にぐるぐる歩いてみたくなる。いわば公園にいるような感覚。普通の家では、飯はここ、勉強はここといった具合に決まった箇所があり、余白は重要ではない。しかし、この家では何もないすき間に、ふと立ちてみたくなる。そこかしこに独特の雰囲気があ

単に奇抜なのではない。この映画を数百年後の人が見れば「この男は命のことを分かっていた」と評価するのではないか。今春、荒川さんの死を知ったのは映画のホームページを立ちあげた2日後だった。天命反転住宅の1階にある事務所の扉を開けた瞬間、異様な空気を感じた。代表の本間桃世さんが涙を流していた。すべてを察した。完成したら一番先に見てほしかった。ただ、これで良かったのだろうか。感想を聞くと、すべて終わってしまった気がする。人間は答えを出したがる。しかし答えなど探している場所には見当たらないものなのだ。(やまおか・のぶたか＝映像作家)

「三鷹天命反転住宅」は球形の部屋など、住宅の常識とかけ離れたつくり(筆者、東京都三鷹市)